



デコボコ
放浪記

台灣旅行

2015年11月(土)(日)(月)2
社員旅行とて



台湾旅行

12 行ってきました。

集合時間 7時半 出発 9時半
のため 5時台の電車と
"成田空港"へ向かう。



↑ 飛行機を確認
: 時間があつたので 現地で
チケットをいじめる方へ
お土産と購入

現地時間 12:40 (昼)に到着

初日は、12:40 市内観光、
懇親会(11名お社員旅行なので)
と夜は街を下りたりしました。



↑ 手付工3700の機内食
うまいか? やっぱり味は 中国風と
11角のニイガキがおいしい。



← 12:40 行く見てもか
台北101を見ました。





無料でもらえるカード形のお守り



收驚
収驚とは台湾流のお払い。行天宮では無料でやっており、自分の名前を伝えるだけでよい。

行天宮

地元で絶大な信頼を集める廟。台湾語の「恩主公(ワンズーコン)」という名称で親しまれている。ここでは三国志の英雄、関羽が祀られているが、台湾では武神としてだけでなく、商売の神としても信仰されている。青い法衣を着たボランティアの中には日本語ができる人もいる。



大山茶藝
NO.12687862
02-25167768
日期:0103/ / 時間:16:42:18 機台:01
收銀:020 序號:0100
團號:14110228-022

| 商品名稱 | 數量 | 單價 | 小計 |
|--------|-----|-------|-----|
| 黑烏龍75g | 1 | 480 | 480 |
| 合計: | | | 480 |
| 折讓折扣: | 0 | 應收金額: | 480 |
| 現金: | 480 | | |

↑ 1元=3円くらいで計算すると ¥1500-くらい

↑ 関羽を神様としてみている。いかに民間宗教? 説法なども行われており。日本の神に似て真面目に取引組んでいる風であった。

日本語ペラペラのおばちゃんも熱心に講義をしてくれてのぞ、お土産客向け価格とかがついているから買ってみることにした。『黒烏龍茶』←日本で新しい販売されたことをアピールするが商人。根拠として2013年にもつこう茶葉の円盤を購入



蒋介石を記念した白雲の殿堂
早朝は拝観する人で賑わう

中正紀念堂
フロンテナーニエンタン

蒋介石を記念して建てられたメモリアルホール。前政権時代に「台湾民主紀念館」と改名されたが、2008年に再び元の名前に戻された。広場はイベント会場として使用されることも多い。敷地内には音楽ホールと劇場も立つ。

MAP 別冊P.14 F-4 台北駅
中山南路21号 MRT中正紀念堂駅5番出口すぐ 02-2343-1100 9:00~18:00 (公園5:00~23:00) 無休 無料

↑ 中には大陸を方向で見つめる蒋介石の像がある。広場も色めくスタイルがナカイ!! やはり中国っぽいなと思う。記念撮影をしてもいいから帰りのバスで写真のプリントを1枚だけ見たいってお願いした。買いかたが1100円に1枚に化して1000円って原価1100円というワケかも。



台湾

1日目(夜) 忠孝復興周辺で777に行くところ777したものの
目星をつけていた店が改装中のため断念し、『夜市』に行くこと
にした。

↓ 台北最大と言われる夜市の中央夜市

↓ 夜1:00位まで営業
土曜日の夜とういことも多い活気があつた。



土地基がなから
ため、777-2
「忠孝復興」駅
777-2 直行は
「MRT 劍潭」駅
から徒歩3分
程度で着く。



← 零時過ぎお祭りのように仕上がり、
台湾人は連日連夜こんなこと
をやっているようだ。
B級グルメ、依料品、317グッズを
売る店など連日にぎわっているようだ。

↓ 案は、東京駅の建築家「辰野金吾」の弟子「長野平治」がコンペで選ばれた設計



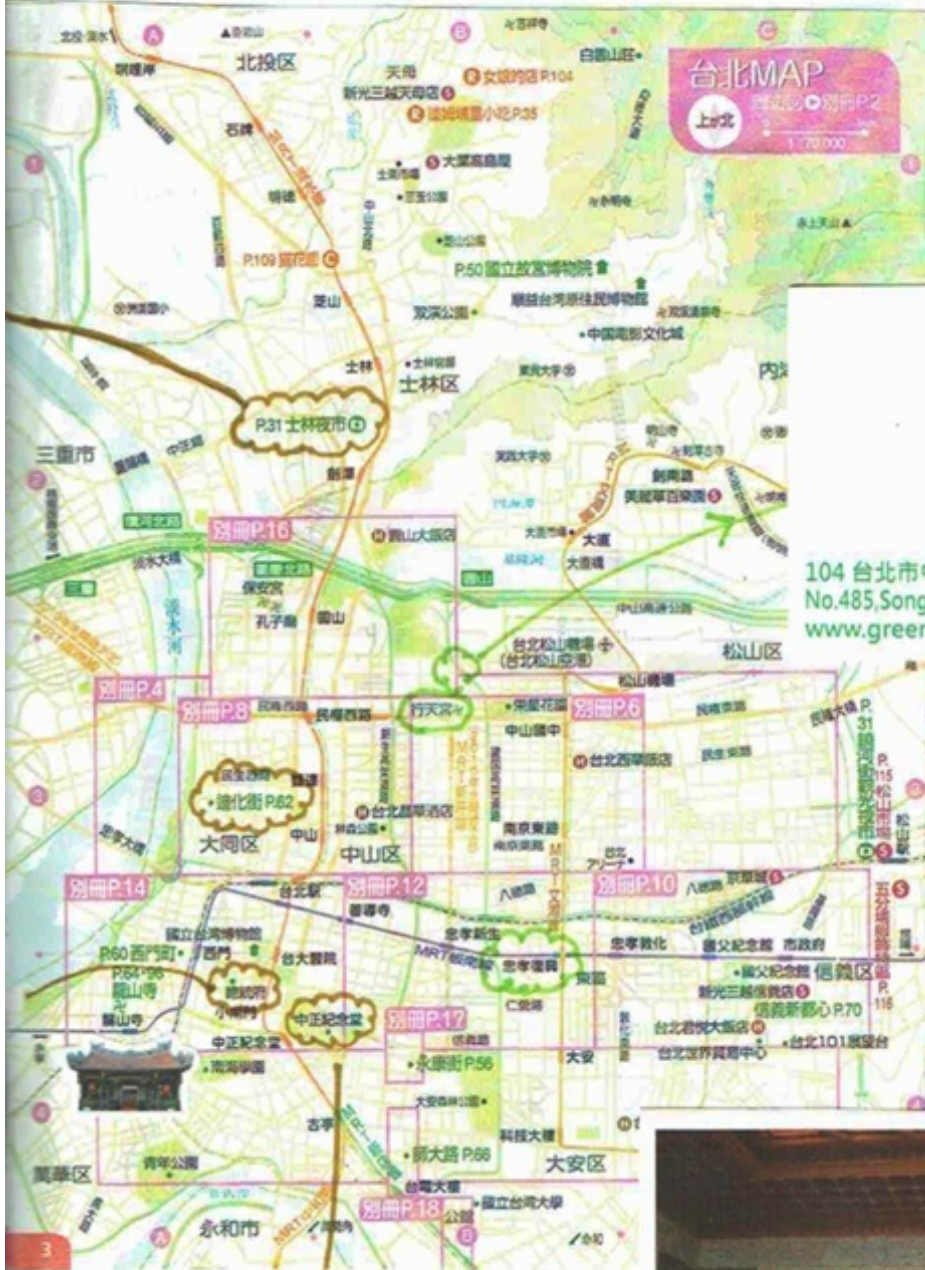
中華民国の
国家行政庁舎

總統府
ツェンツォンフー
1919年竣工の旧台湾総督府庁舎で、ルネサ
ンス様式の歴史建築。現在も總統府として
行政の中核だ。中央塔の高さは60mもある。
館内の一部分が開放され、参観が可能(要パス
ポート携帯)。台湾史に関する展示もある。
記念品を扱うグッズ売場もある。

MAP 別冊P.14 D-3 台北駅
西重慶南路1段122号 国 MRT台大醫院駅から徒歩
5分 ②02-2312-0760 国 9:00~12:00 (偶数月第1日
曜に特別開放) 国 土、日曜、祝日 国 無料

バスが運行した
総統府。ミイロと
は 蘇州等と思
意匠。日本の日6和
経路の間で目見
帝冠様式を踏襲し

迪化街は、30日に訪問。
 日帝統治時代の雰囲気
 残っています。



行天宮近くの市街。ここが
 通りと狭い路に、とても便利
 だった。でも朝食はちよとビョー
 ト-79-12. こねてました。



GREEN WORLD
 -Hotels-
 SONG JIANG
 洛基松江大飯店

104 台北市中山區松江路485號
 No.485, Songjiang, Rd., Taipei, Taiwan
 www.greenworldhotels.com
 TEL: +886-2-2509-8222
 FAX: +886-2-2516-3169

大吉

大陸の方向を見つける。
 蒋介石象。マカ!!
 手前は、交替時の1074-マンスを
 衛兵。



マカ



2日目 AMは、台北の足を延ばして

『九份』へ行きました。

台北より1時間半くらい

↓ 九份の出口近く、坂の小道を店を見ながら散歩できる。



↑ 九份入口付近は、うーん
エキゾチック。この色使いが
やばい感じ!! 向となく南方っぽ
い感じもあるが。

→ 視界のひろげた場所で撮影
山の手前は基隆市。



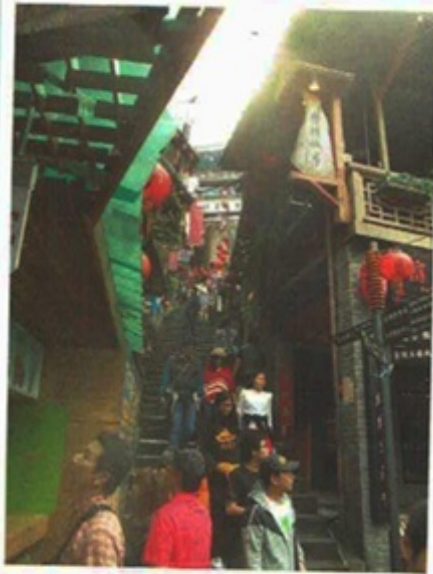
『九份』とは、

昔前には東洋随一と
言われた金鉱があった
鉱山街。

戦後は、鉱山は閉山
し街は衰退した。

その時、古き良き時代の
雰囲気は、残り、
現在は、その雰囲気と
売り物とした観光地
になっている。





← 九份の内部は本当に
こんな感じ。左右に店が
建っている。小道を観光客
に合わせたお茶屋

↙ ガイドからは、
『千と千尋の神隠し』
の油屋のモデルと
紹介されたがどうやら
ジブリより正式に否定され
るらしい。
でも独特のムードは
一見の価値あり。



← 2日目の行程

AM 九份見学。海岸線を見つ
途中で 海鮮のレストランで昼食 +
市場を見学。

PM - 淡水にて「紅毛城」
ホンマオウシツ
と淡水河の川岸に並んだ屋台を
見物 (日曜日だったためお祭り状態)

↓
台北市内で夕食

↓
その後見裏マサージへ行ってきました。



↑ 昼食を11時に海鮮レストラン近くにて
九份で見つけたものに比べると11時は、
7割かこのくらいが日本人好き。



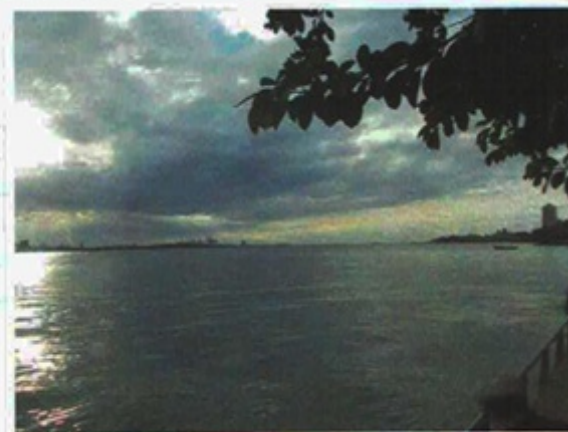
↑ 恐るべし台湾の海鮮。日本とは、
ちよとちがった雰囲気。貝の種類が9割



← 「和毛城」 1600年代にスペインにより
築成された城。その後オランダ、
イギリス、日本が争奪した。この時
支配勢により据点として利用
された。



↑ 昼食で食べた「蟹」身もうすかなが
とちがったというミソを染み込ませ
淡色の川の中がめ、当日は日曜日と
こともあり観光客を目当てとする
屋台やおみやげ屋が立ち並んで
とてもにぎやかなムードであった。



2日目の夜は、ガイドさん行きがけの
店で食事をした後、足つほ
マッサージに行ってみる。
日本語OK 下町の2人が楽しかった。



↑ 台北の夜の街並み。
漢字9割のカイン以外は、中国と
日本と似ている感じがする。

元気 養・生・会・館
足裏・全身・整体・エステ
台北ENAVIのホムベジニア大好き

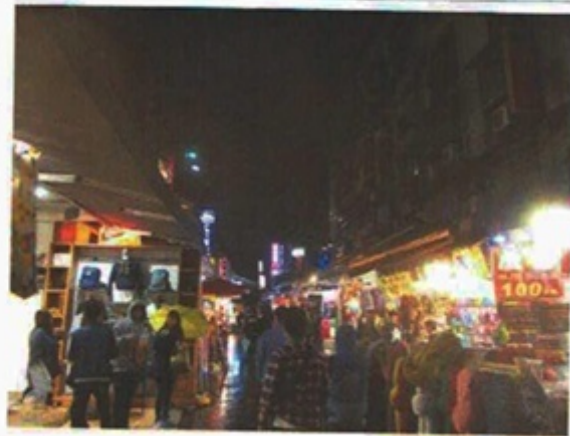
<http://www.taipeinavi.com/beauty/88/>

陳章碩 (孟祥)

地址: 台北市中山區中山北路二段11巷11號
電話: (02)2521-1265 (近遠東、老幼美店、大倉飯店の隣)
日本から: 00886225211265
営業時間: AM9:00~PM12:00 **日本語OK**

← 台湾人は、夜行性という言葉で「ガイドさんは
説明をくりがえしていか」やはり土曜日、日曜日の
夜は 街に人があふれる。

↓ 土曜日(1日目の夜)の士林市場の
夜の様子。



3日 3日目 (月曜日)

12:30 (昼)には、空港
(台北桃園空港)へ 出発という
ことで午前中 ちらりと街中を
見に行くことにした。

→ AM 8:00 ~ 9:00 くらいは 街。
原研の量がびっくりする。





3日目 AM

ホテルから歩いて最寄りの駅を目指す。



スクーターの数が多い！
台湾の若い層は、お買い物をするために通車時は、スクーターが活躍する。



↑ 朝市の後 台湾では、今でも食品の購入は、朝市を利用する人が大半（スーパーのお客も少し少ない）

← いかんも中華圏の雰囲気と公道
字原の端にコンビニが見えるが
コンビニの認知率の普及率は世界1
とのこと。



↑ バスに 政党のポスターが
台湾では、政治の話を夫婦喧嘩
がおおく、政治に熱い!! とう。

→
地下鉄の構内にはキョウターのスタンプが
おそろい台湾!!
うががセンス良!!



↑ 地下鉄に乗る迪化街へ
向かた。これは地下鉄に
乗る際に購入する「ト-ク」



↑ 地下鉄構内のチケット販売機
お金を入れた上の「ト-ク」を
購入する。



『迪化街』を行く!!

迪化街歴史建築ガイド

迪化街の歴史は18世紀末期に遡る。当初は土砂の堆積で衰退した萬華に代わる水運基地として発達し、19世紀中頃からは高麗や倉庫が軒を連ねるようになる。日本統治時代が始まると、迪化街は名実ともに台湾統一の商業エリアとして機能し、茶葉のほか、漢方薬材や乾物、布などの商店が集結した。現在の建物は19世紀末期に造営され、1920年代に改装されたものが多い、バロック風の装飾を施した建物が多く、その構造はワナギの梁床のように細長い。これは商店や住居、作業場、倉庫などを兼ねた造りになっているため、中国南部や東南アジアでも見られる商店建築のスタイルといえる。



。漢方薬材や乾物の専門店が軒を連ねる。
ミナミのバロック風、モダニズム擬洋風の様式 + 漢字との組み合わせがタイス。

。売っているものが乾物やお供えものなど、古くからあみあみの購入にはふさわしい。



。迪化街がいろいろ見られるのが旧正月前。正月用品が店先は並べられる。上野の3人様のような存在。





↑ 街全体で観光客化が弱め
 られているのか道が非常に
 キレイなところ - 一角があった。

マシントンのジュースもたまたま
 お茶のほかに味にこだわった。

↓
 最終日は、時間もせめて
 以下の2セブイレブンで昼食を購入。
 ショッピングしたのはお土産の具が
 11角あったのと、7-イレブンでジュースか
 お茶として売られていたこと。



7-ELEVEN.

電子發票證明聯
 年 月
MS-01926638

2014-11-17 11:16:05
 隨機碼: 6856 總計: 117
 賣方53023994



松鋪 114510 序179825 機3
 退貨憑電子發票證明聯正本辦理

残った元を飛行場の売店で
 使った。
 2泊3日と駆け足の旅行であったが
 のんびり時間を忘れることができた。



700 采盟股份有限公司
 TASA MENG CORPORATION
 台北市復興北路57號3樓之1
 3F, No. 57 Fuxin N. Road, Taipei, Taiwan, R.O.C.

DUTY FREE SHOP SALES INVOICE

S/N: 11082887456 Page: 1
 NATIONALITY: 81 FLIGHT NO: C1106
 DEPARTURE: 2014/11/
 VIP: 50:
 041609567003P 壹圓券
 70 10 70T
 3LU764572606P 台灣簡版卡-台北藍
 210 10 210T
 618404002211P 1B Conf-Pillow舒滿U
 475 10 475T
 712487611236P 嚴標台灣衛生紙-綠華
 70 10 70T
 SUB TOTAL 831

Etax: 4 831
 NT 1,001
 NT CHANGE 170
 2014/11/ 001-45-908
 CASHIER: T37333 SALES: T15206

歡迎光臨 歡迎批發零售・贈送服務 請持本單向采盟客服中心提出・(附發票證明)
 Please bring this invoice to Tasa Meng Customer Service for after-sales service.

轉帳 Transfer via 現金, 無轉帳 / 點 Direct, No Transfer

DOB2887456 2

第一聯 購買人收執